

**南丹市高齢者福祉計画・
第10期介護保険事業計画
策定に係るアンケート調査結果報告書
(結果概要)**

令和8年3月

南丹市

目次

第1章 調査の目的と実施概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 実施概要.....	1
第2章 ニーズ調査結果概要	2
○ 回答属性（ニーズ調査）.....	2
1. あなた自身について.....	3
2. 外出について.....	4
3. 地域活動への参加状況について.....	5
4. 助け合いへつながりについて.....	6
5. 健康・幸福度について.....	7
6. 地域包括支援センターについて.....	8
7. 認知症等について.....	9
8. 高齢者への支援について.....	10
9. 生活機能評価について.....	11
第3章 在宅介護実態調査結果概要	12
○ 回答属性（在宅介護実態調査）.....	12
1. 施設の検討状況・サービスの利用.....	13
2. 必要なサービス・家族の介護頻度.....	14
3. 認知症について.....	15
4. 介護者の状況.....	16

第1章 調査の目的と実施概要

1. 調査の目的

本調査は、令和9年度～11年度までを計画期間とする「南丹市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定にあたり、市内の高齢者等の生活実態や健康状態等を把握し、これを計画策定の基礎資料とするために実施したものです。

2. 実施概要

(1) 調査方法

調査は、郵送による配布、回収により実施しました。

(2) 調査の対象者と配布数

調査の対象者と配布数について、整理すると次のとおりです。

調査名	対象者	配布数	回収数			回収率
			Web	紙	合計	
介護予防・日常生活圏 域二一ズ調査	65歳以上の 要介護認定者 1～5以外	3,000	182	1,700	1,882	62.7%
在宅介護実態調査	在宅で生活してい る要支援・要介護 認定者	800	-	360	360	45.0%

(3) 抽出基準日

令和7年11月1日

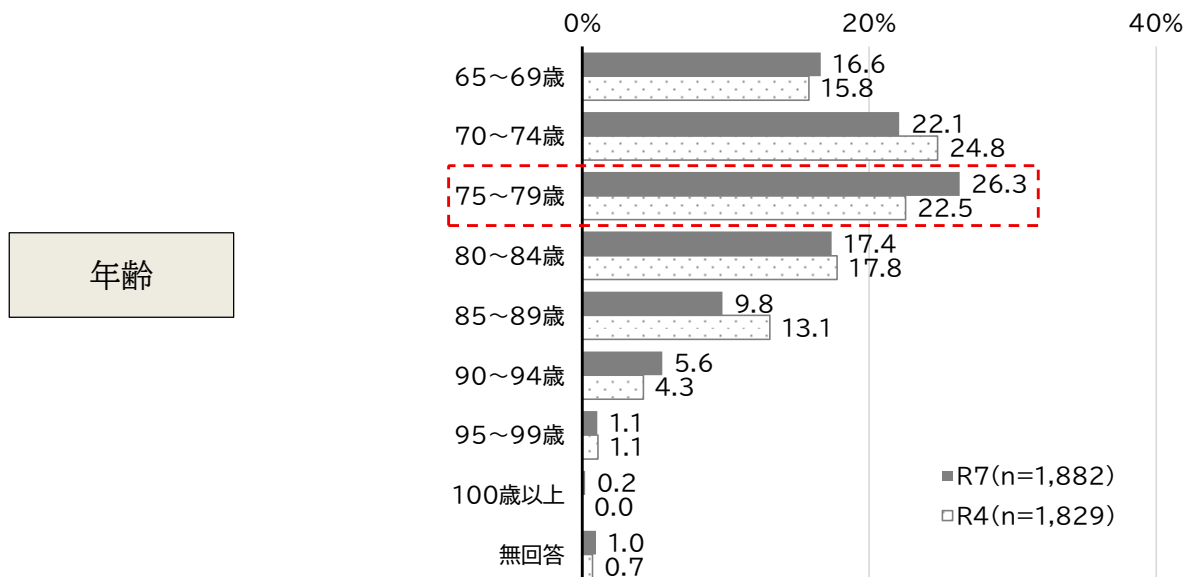
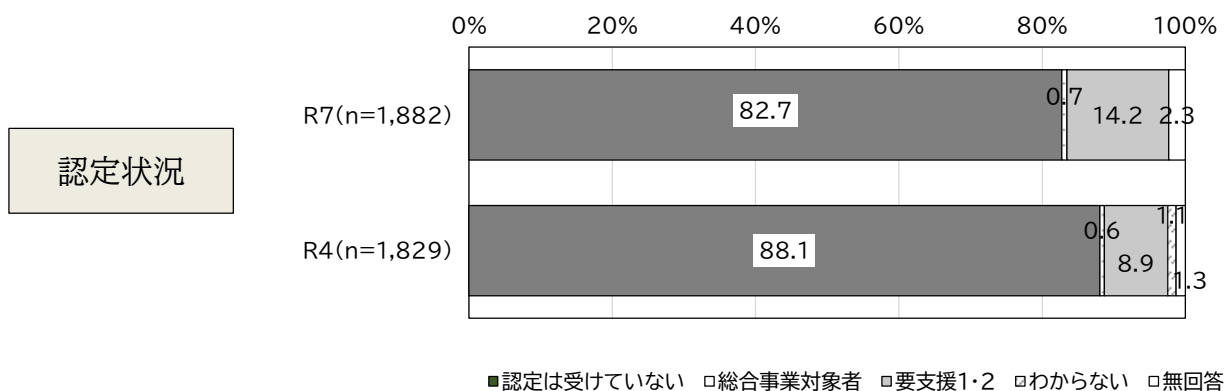
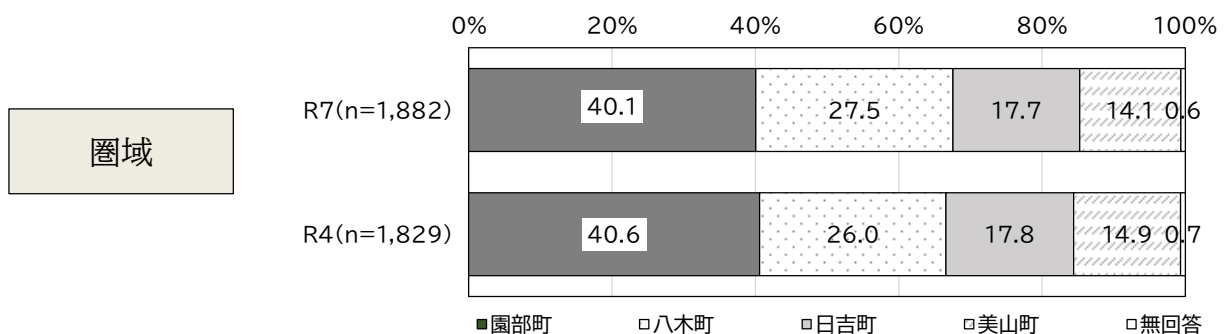
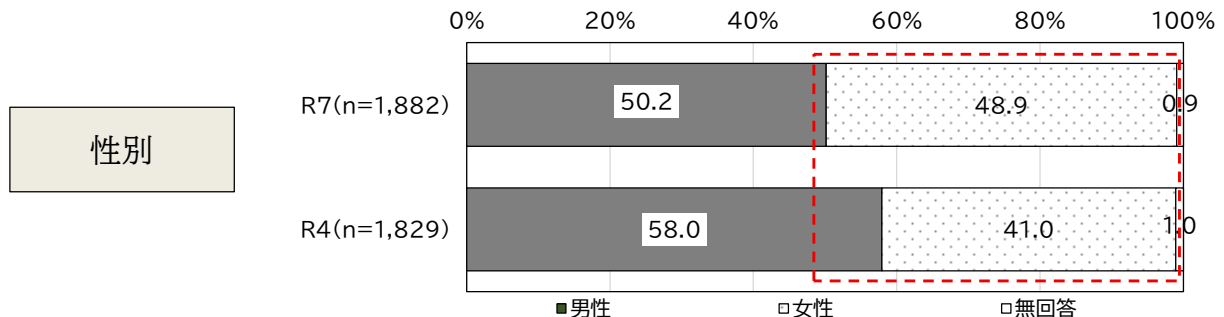
(4) 調査期間

令和7年12月

第2章 ニーズ調査結果概要

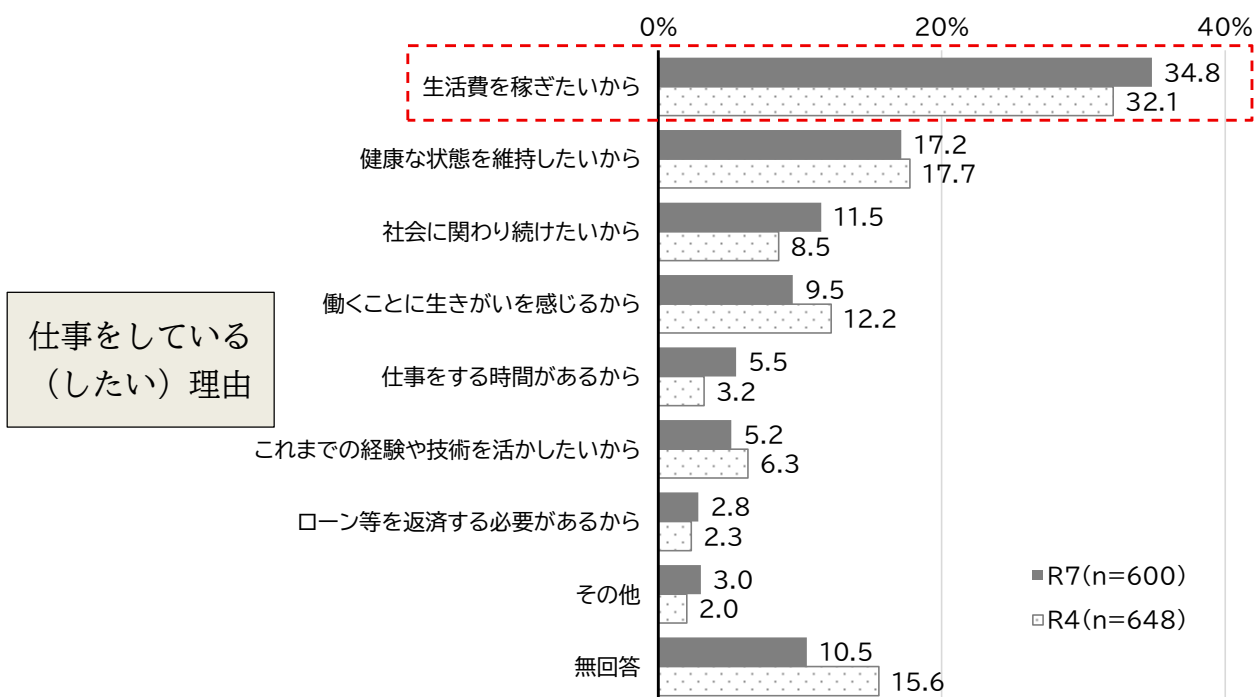
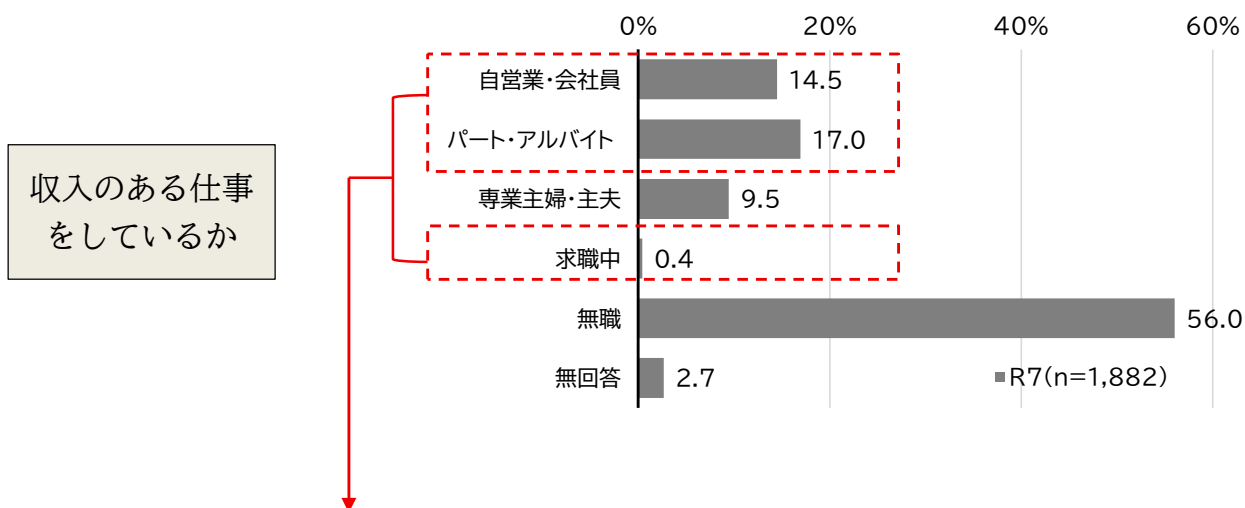
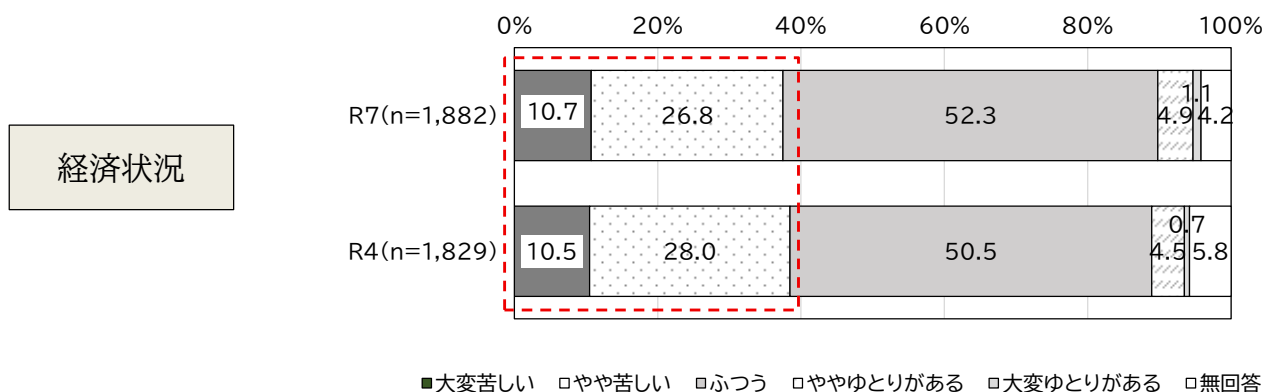
○ 回答属性(ニーズ調査)

女性の回答割合が8ポイント程度増加。また年齢層で最も高いのは75～79歳。



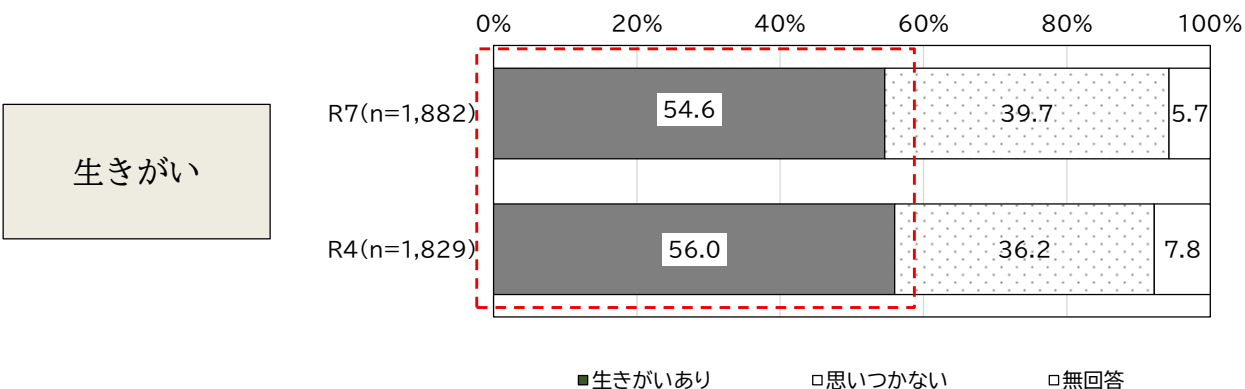
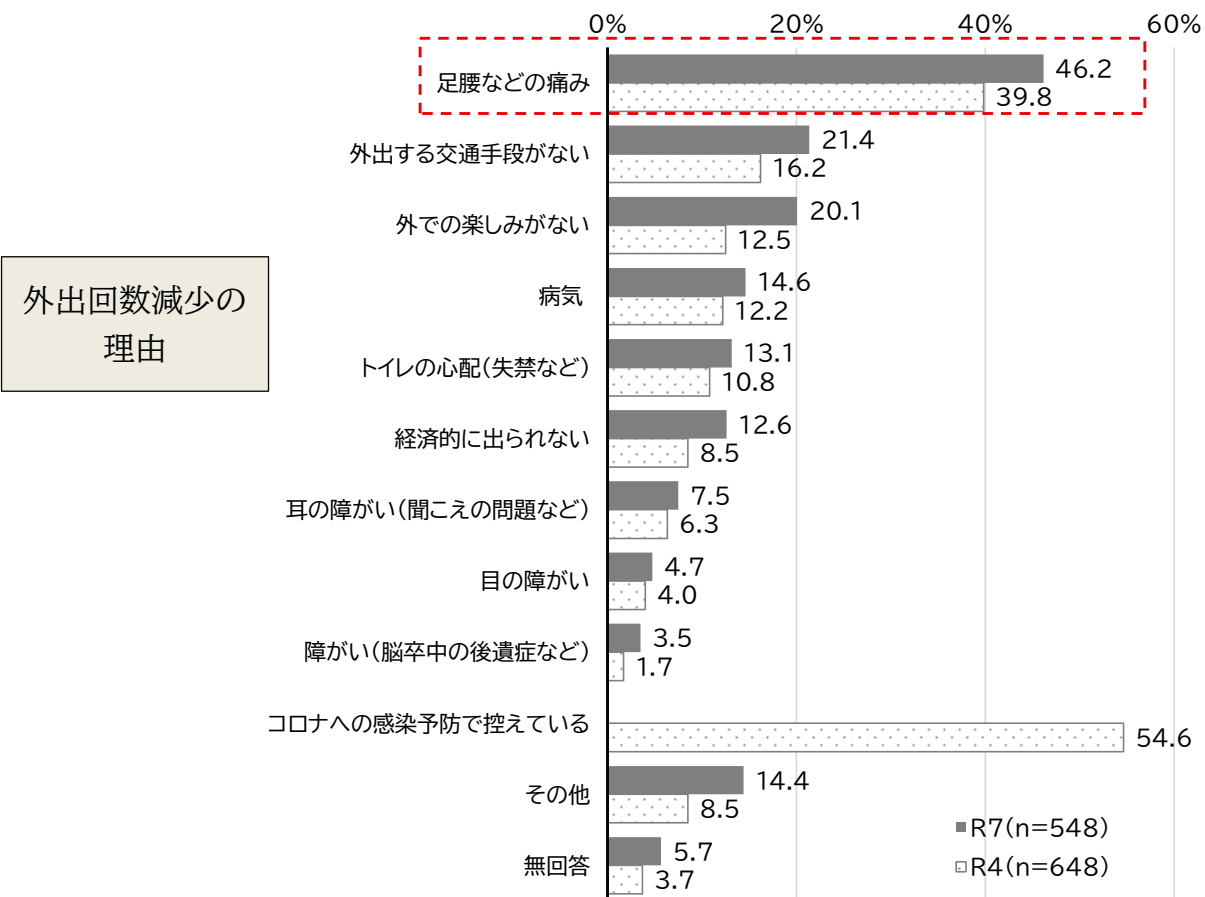
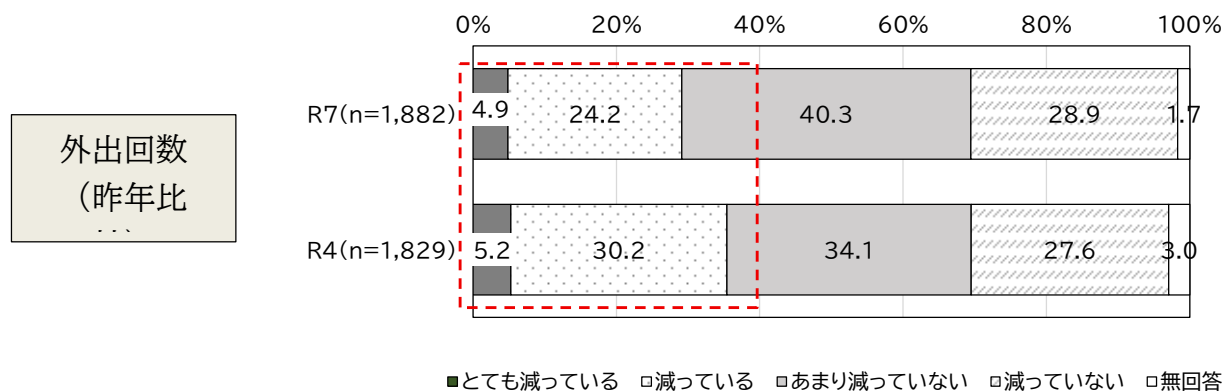
1. あなた自身について

経済的に『苦しい』はやや減少。仕事をしている人は約3割で、その理由は「生活費を稼ぐため」が最も高い。



2. 外出について

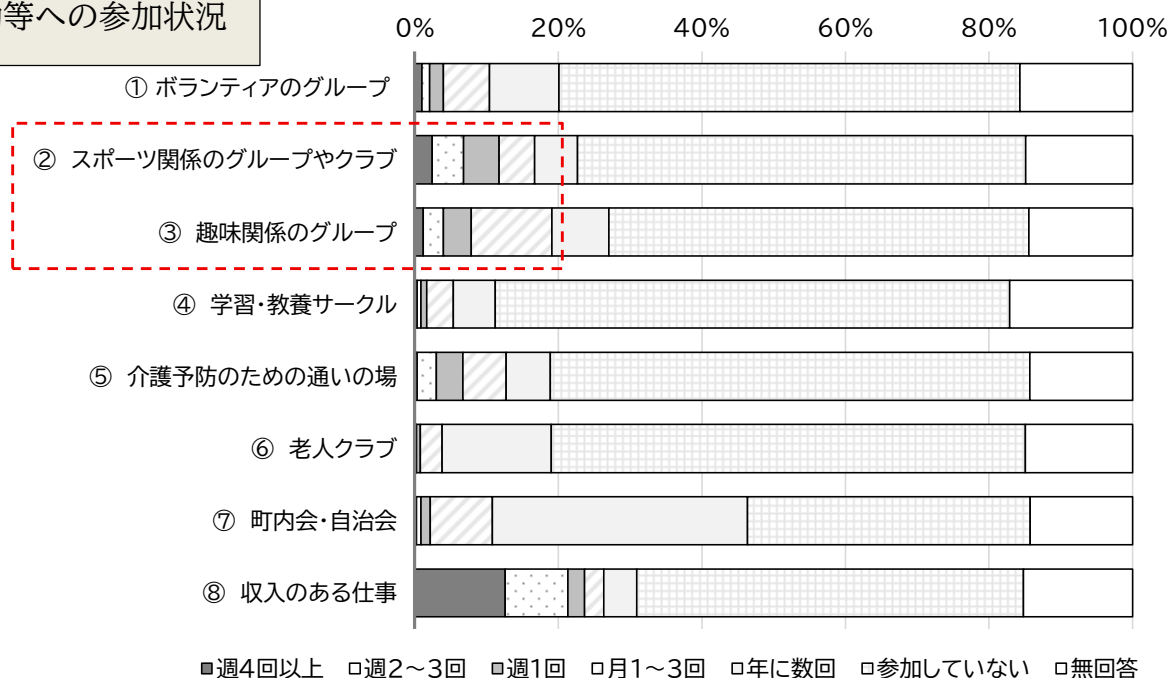
昨年と比べて外出が『減っている』は、6.3ポイント減少。外出が減少している理由は、「足腰などの痛み」が約半数。生きがいがある人はやや減少。



3. 地域活動への参加状況について

月1回以上の地域活動への参加状況は、“スポーツ関係”や“趣味”で15%以上となっており、前回（R4）と比較すると、“趣味”がやや増加。企画運営として地域活動へ「参加したくない」が5ポイント程度増加。

地域活動等への参加状況

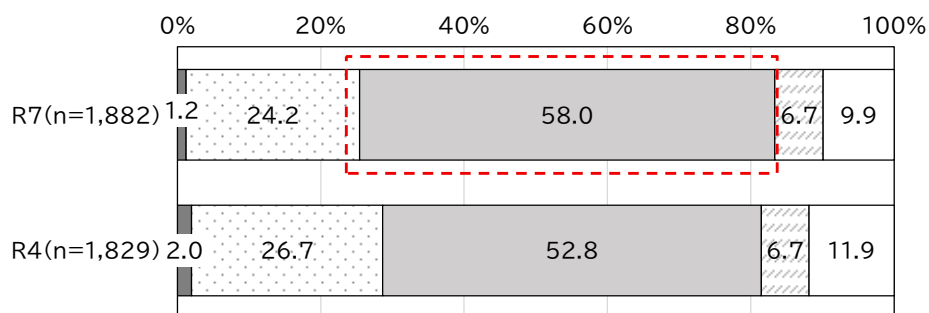


■週4回以上 □週2~3回 □週1回 □月1~3回 □年に数回 □参加していない □無回答

(R4)

	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答	月1回以上	月1回以上
① ボランティアのグループ	1.0	1.1	1.9	6.4	9.7	64.2	15.7	10.4	8.3
② スポーツ関係のグループやクラブ	2.4	4.4	4.9	4.9	6.0	62.4	14.9	16.7	17.2
③ 趣味関係のグループ	1.2	2.8	3.9	11.3	7.9	58.5	14.5	19.1	17.8
④ 学習・教養サークル	0.3	0.5	0.9	3.7	5.8	71.7	17.1	5.4	5.9
⑤ 介護予防のための通いの場	0.3	2.7	3.7	6.0	6.2	66.8	14.3	12.7	10.3
⑥ 老人クラブ	0.2	0.1	0.5	3.0	15.2	66.0	14.9	3.8	5.0
⑦ 町内会・自治会	0.3	0.6	1.3	8.7	35.5	39.4	14.2	10.8	10.7
⑧ 収入のある仕事	12.6	8.8	2.3	2.7	4.6	53.9	15.2	26.3	26.3

地域活動へ企画・運営参加したいか

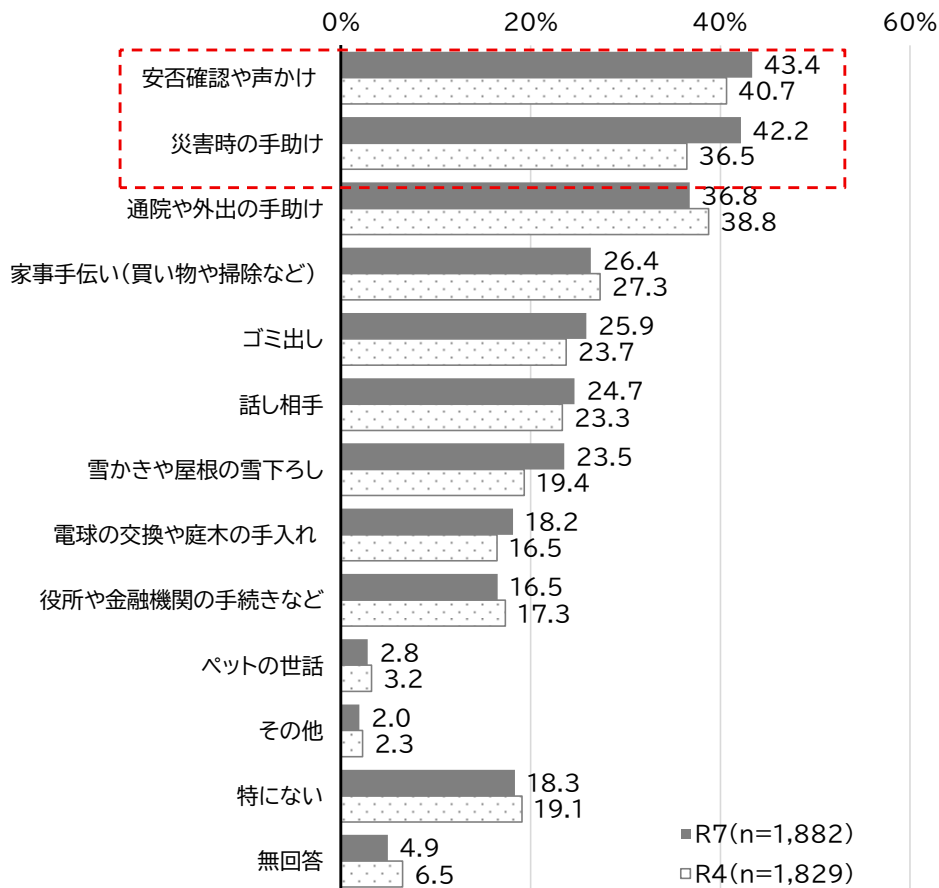


■是非参加したい □参加してもよい □参加したくない □既に参加している □無回答

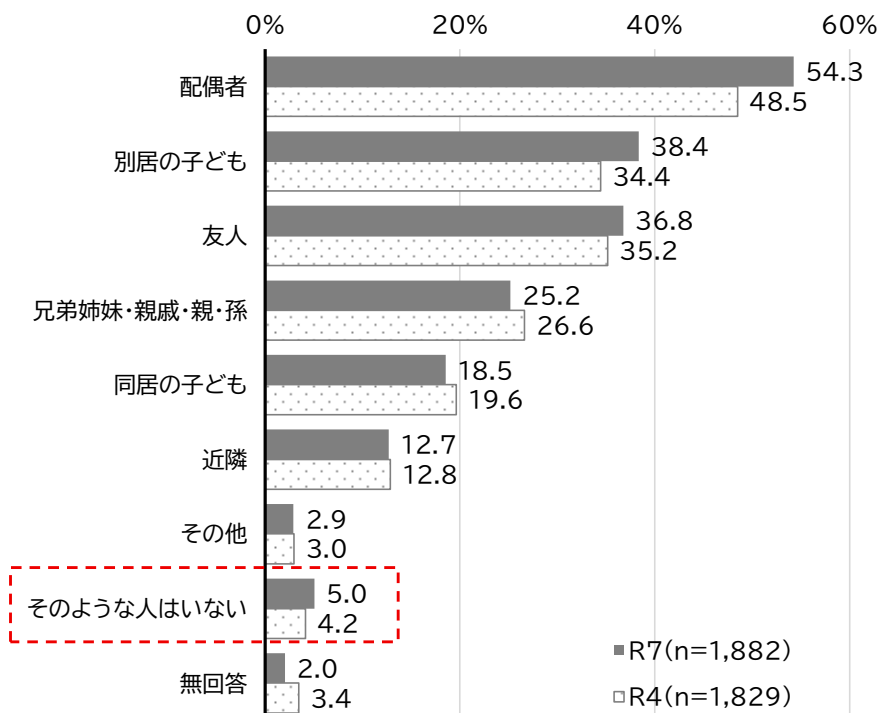
4. 助け合いへつながりについて

日常生活が難しくなった際にしてほしいことの上位は、前回（R4）と変化がない。ただし、「災害時の手助け」は6ポイント程度増加。心配事や愚痴を聞いてくれる人が「いない」がやや増加。

日常生活が不自由
になった際に近所
や地域にしてほし
いこと

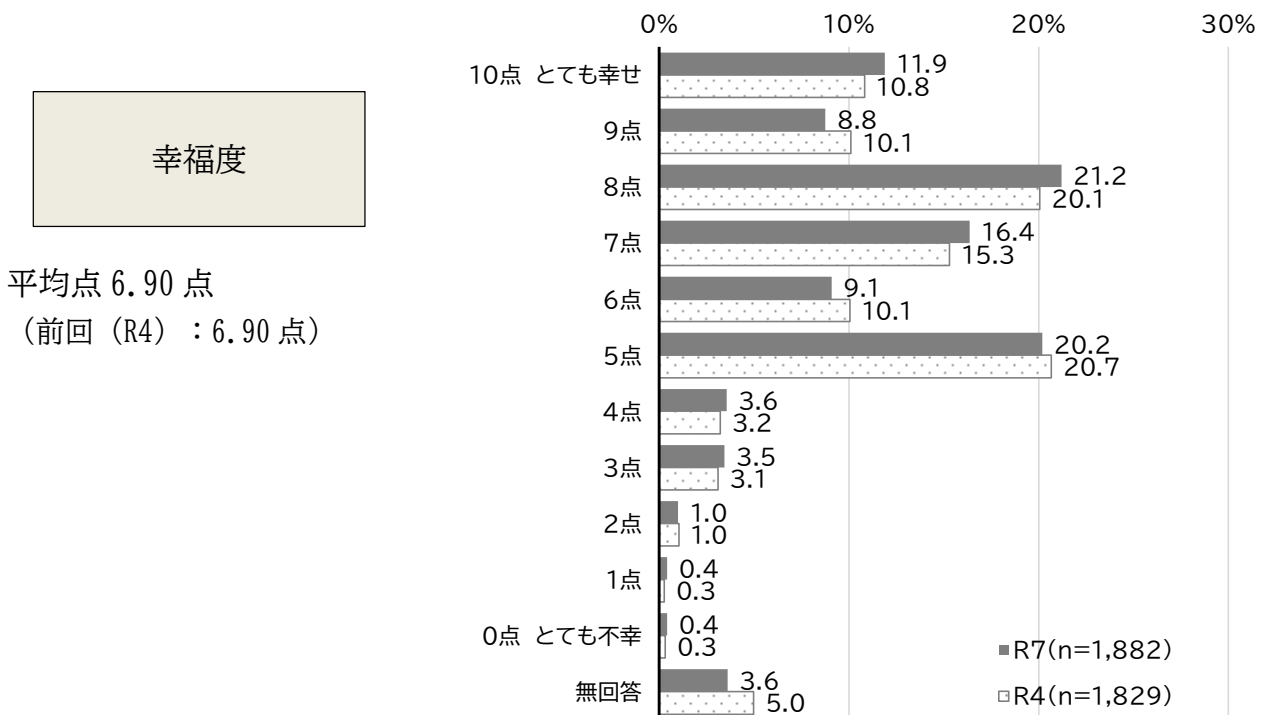
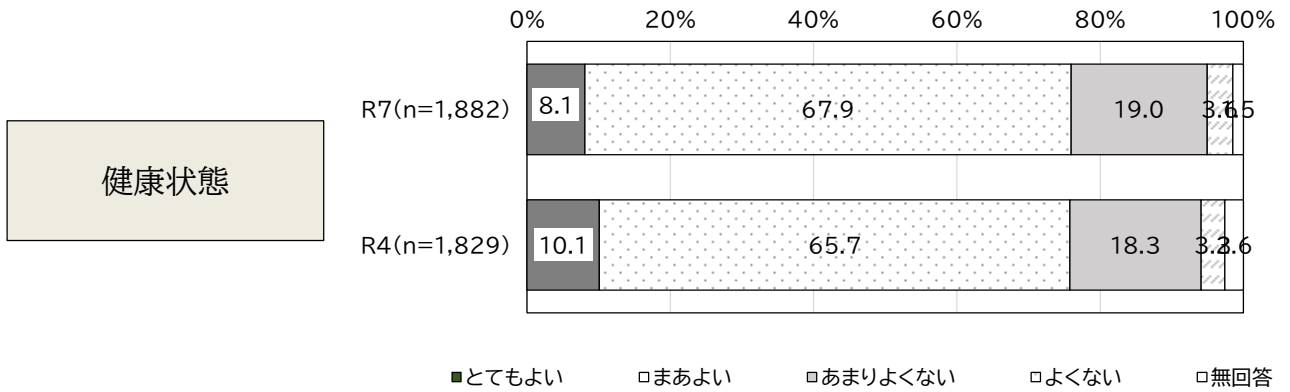


心配事や愚痴を聞い
てほしいこと



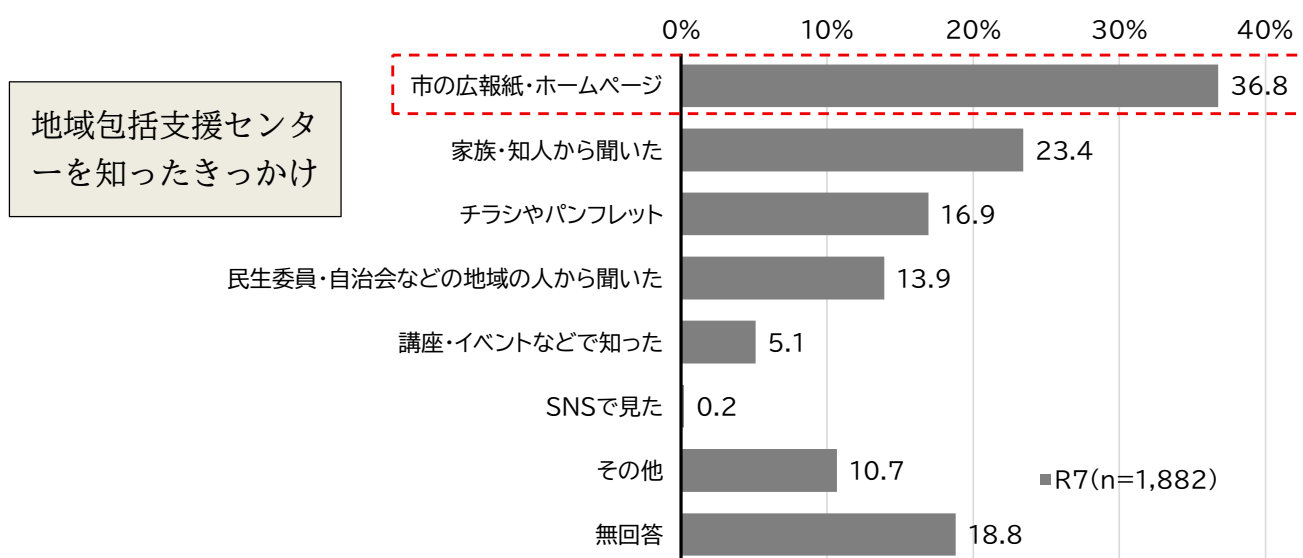
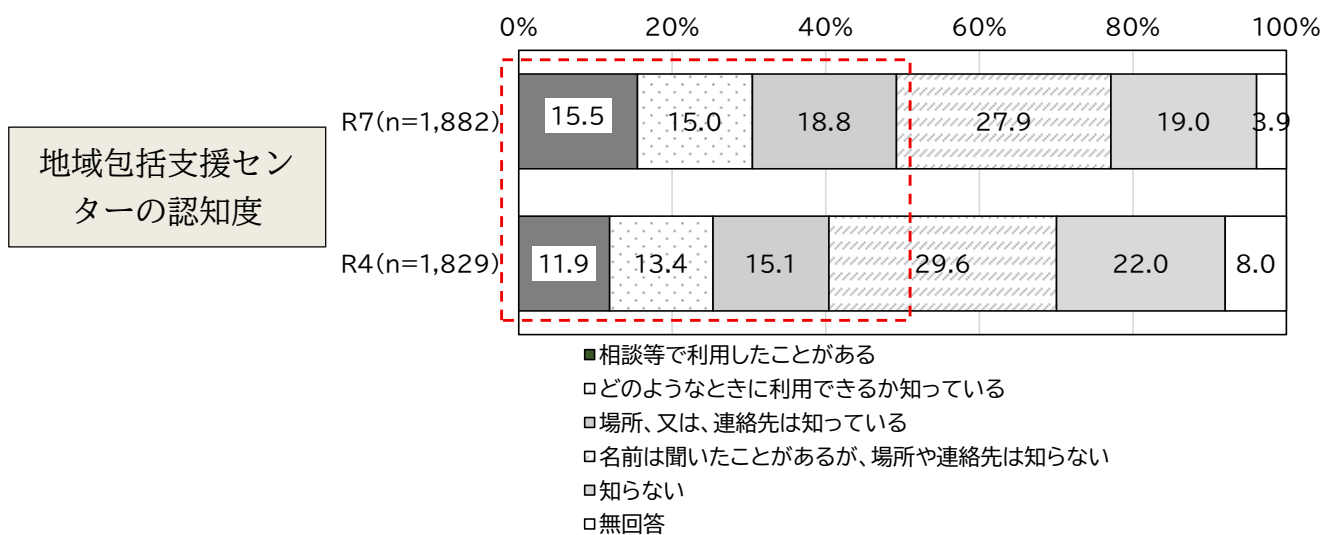
5. 健康・幸福度について

健康状態や幸福度について、前回（R4）と比較して大きな変化はない、もしくは同じ。



6. 地域包括支援センターについて

地域包括支援センターを『知っている』は、9ポイント程度増加。知ったきっかけは、「市の広報紙・ホームページ」が約4割。

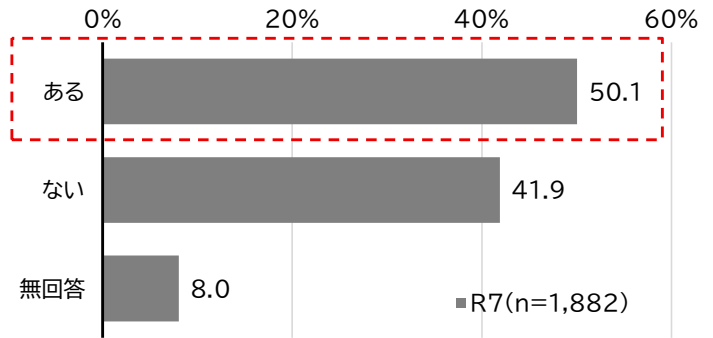


7. 認知症等について

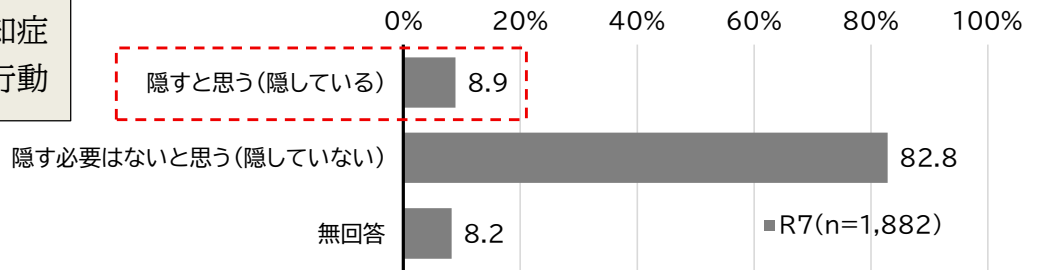
認知症については5割が調べた経験がある。また、自身等が認知症になった際に「隠す」方は1割未満。

成年後見制度の認知度は、“聞いたことはある”まで含めると4ポイント程度増加。

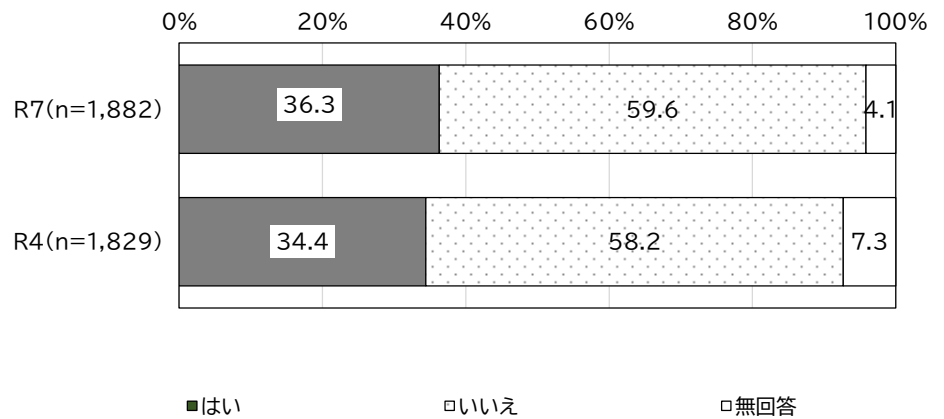
認知症について
調べた経験



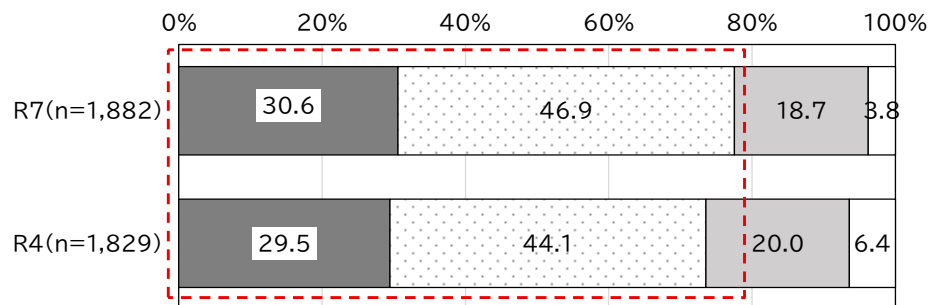
自身や家族が認知症
になった場合の行動



認知症の窓口の
認知度



成年後見制度の
認知度

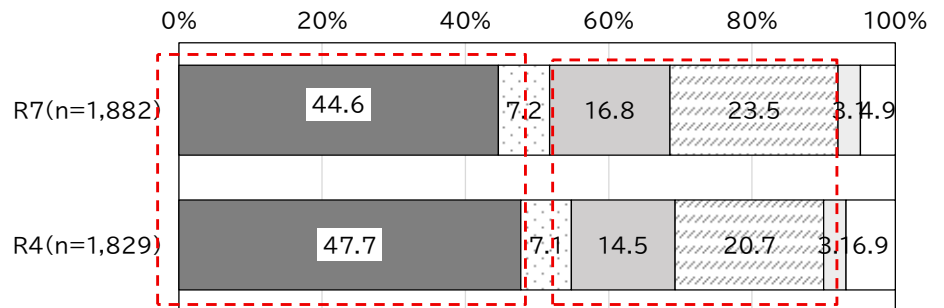


■ 知っている □ 聞いたことはあるが、内容までは知らない □ まったく知らない □ 無回答

8. 高齢者への支援について

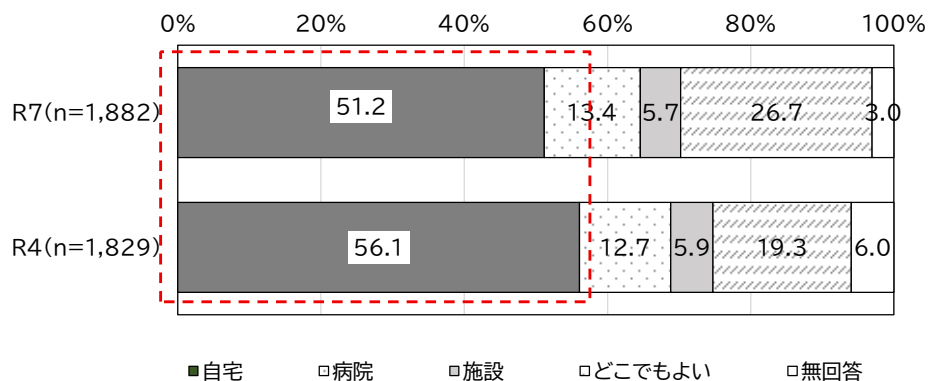
支援が必要になった際、「自宅や地域で過ごしたい」はやや減少。一方で、施設を希望する方が増加している。
最期を迎えたい場所も「自宅」が減少。

支援が必要になった
際の生活について



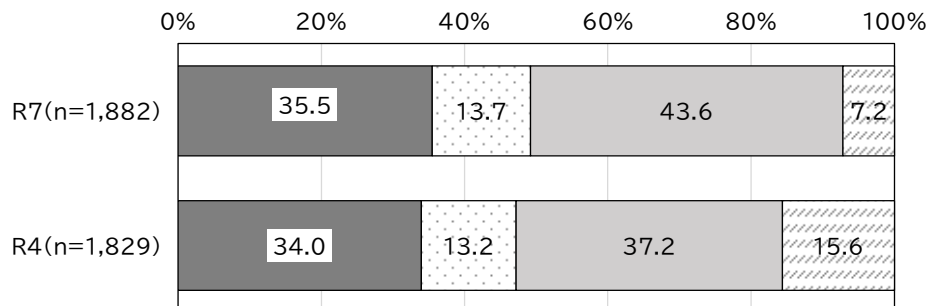
- 一人暮らしとしても、現在住んでいる自宅や地域で過ごしたい
- 一人で暮らすのは不安なので、現在住んでいる地域を離れても子どもや親族の家で過ごしたい
- 見守りや生活支援がある高齢者向けの住宅で過ごしたい(サービス付高齢者住宅 等)
- 特別養護老人ホームやグループホームなどの入所施設で過ごしたい
- その他
- 無回答

最期を迎えたい
場所



- 自宅
- 病院
- 施設
- どこでもよい
- 無回答

市の高齢者在宅福祉
サービスについて



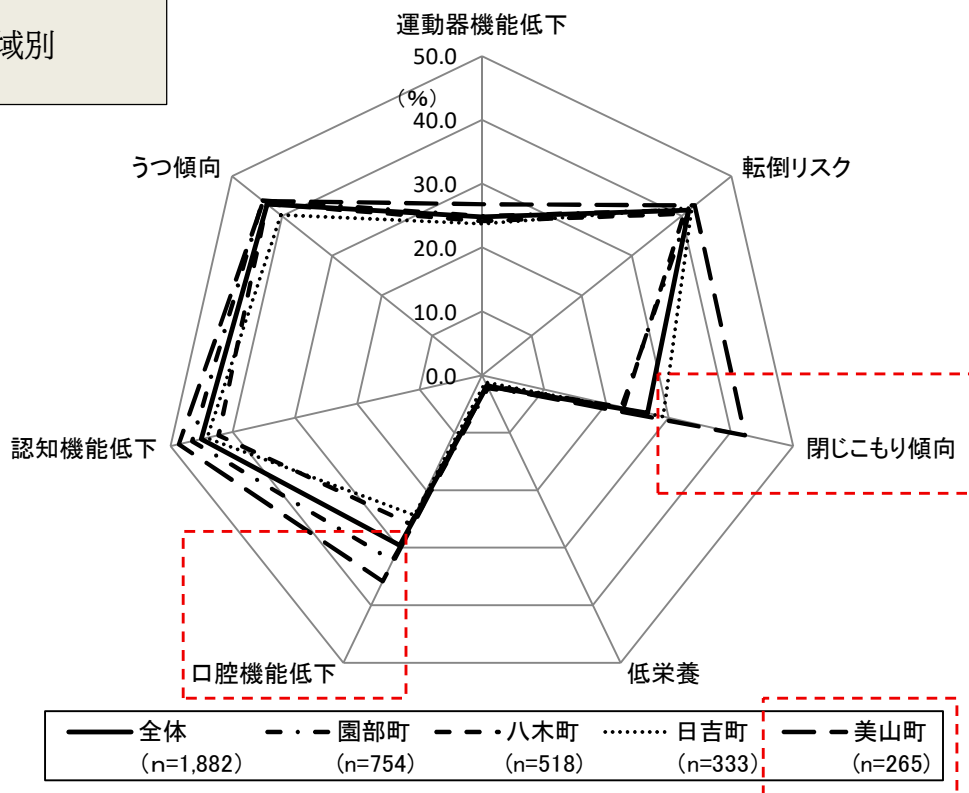
- 充実している
- 充実していない
- どちらともいえない
- 無回答

9. 生活機能評価について

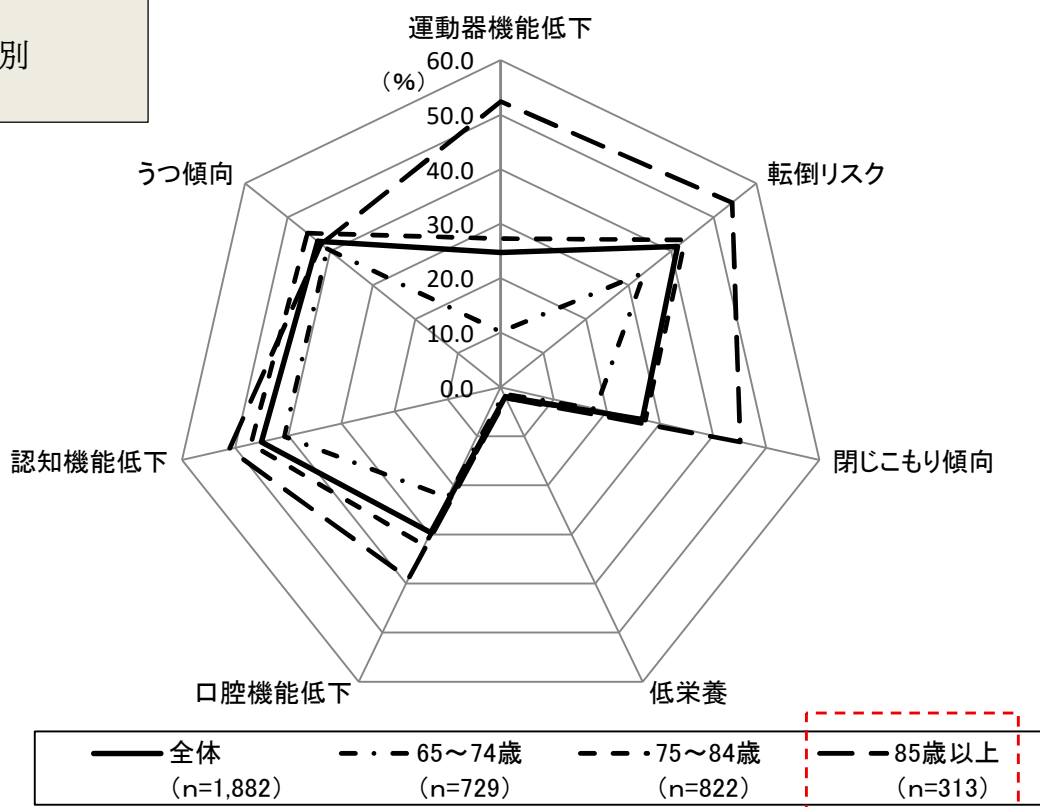
圏域別では、“美山町”が他の圏域と比較して、「閉じこもり傾向」「口腔機能低下」リスクの割合が高い。

年齢別では、「うつ傾向」「低栄養」以外は、“85歳以上”でリスク割合が増加。

圏域別



年齢別

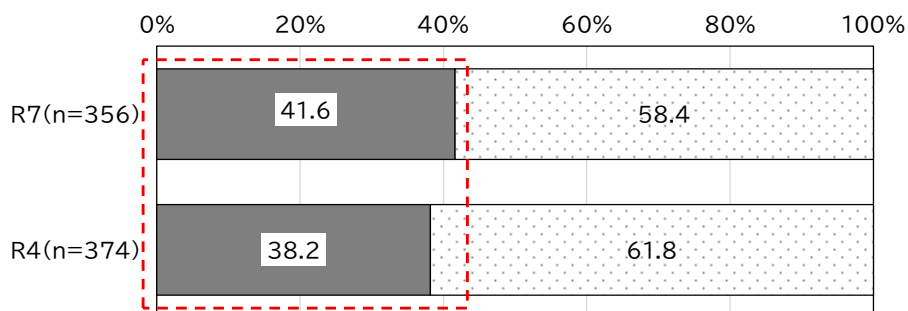


第3章 在宅介護実態調査結果概要

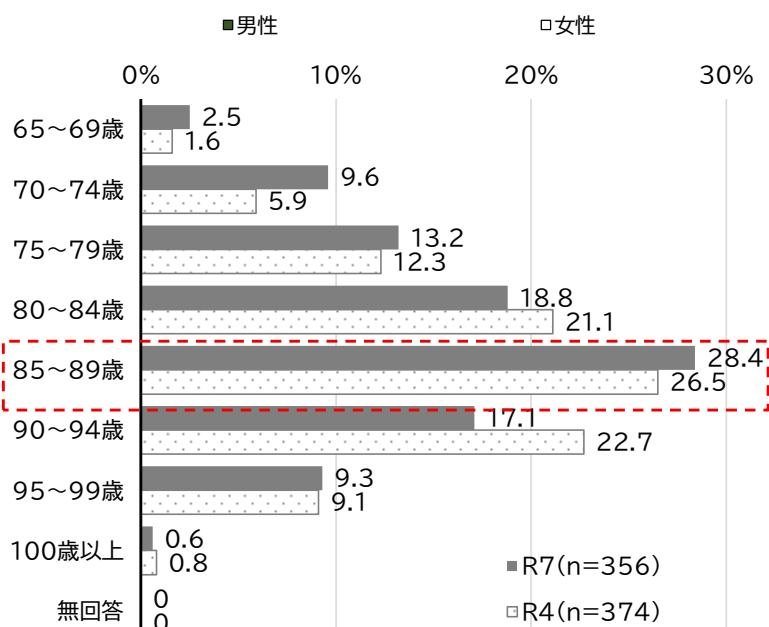
○ 回答属性(在宅介護実態調査)

回答者は「男性」がやや増加。年齢では「85～89歳」、要介護度別では「要介護2」が多い。(前回と同様の傾向)

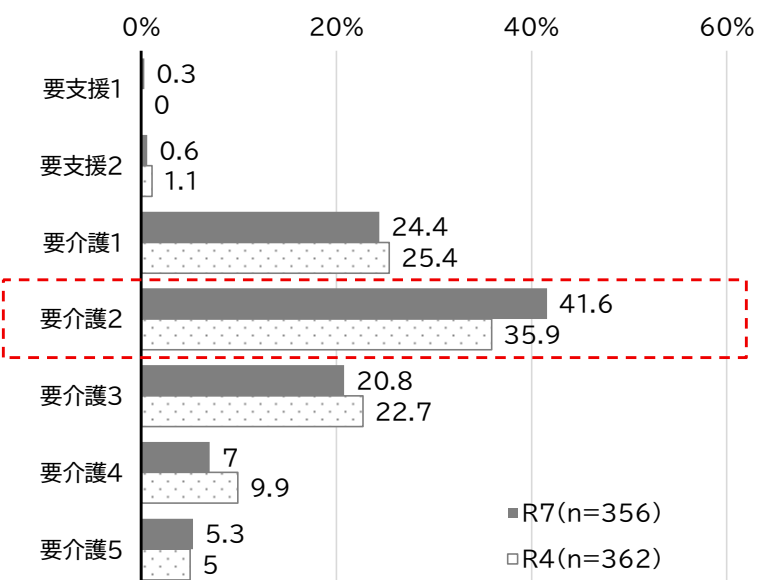
性別



年齢

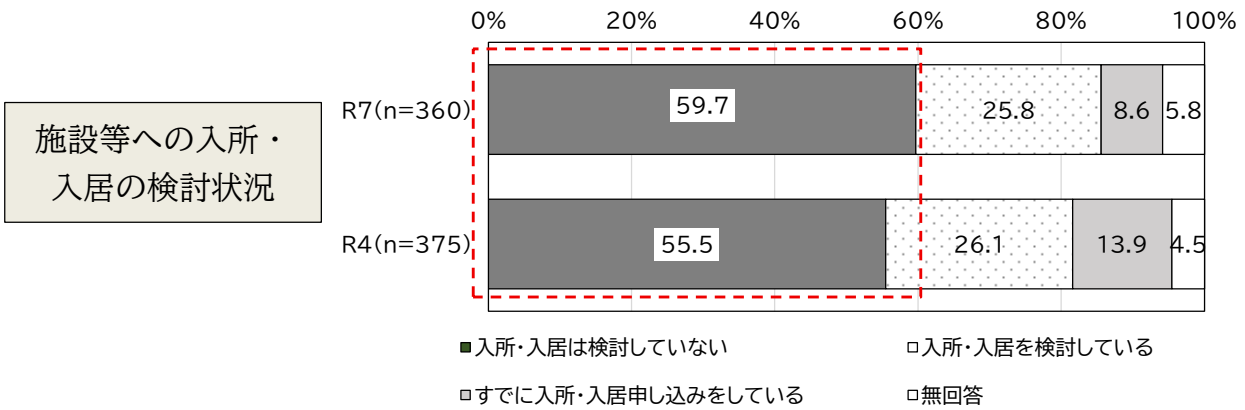


要介護度

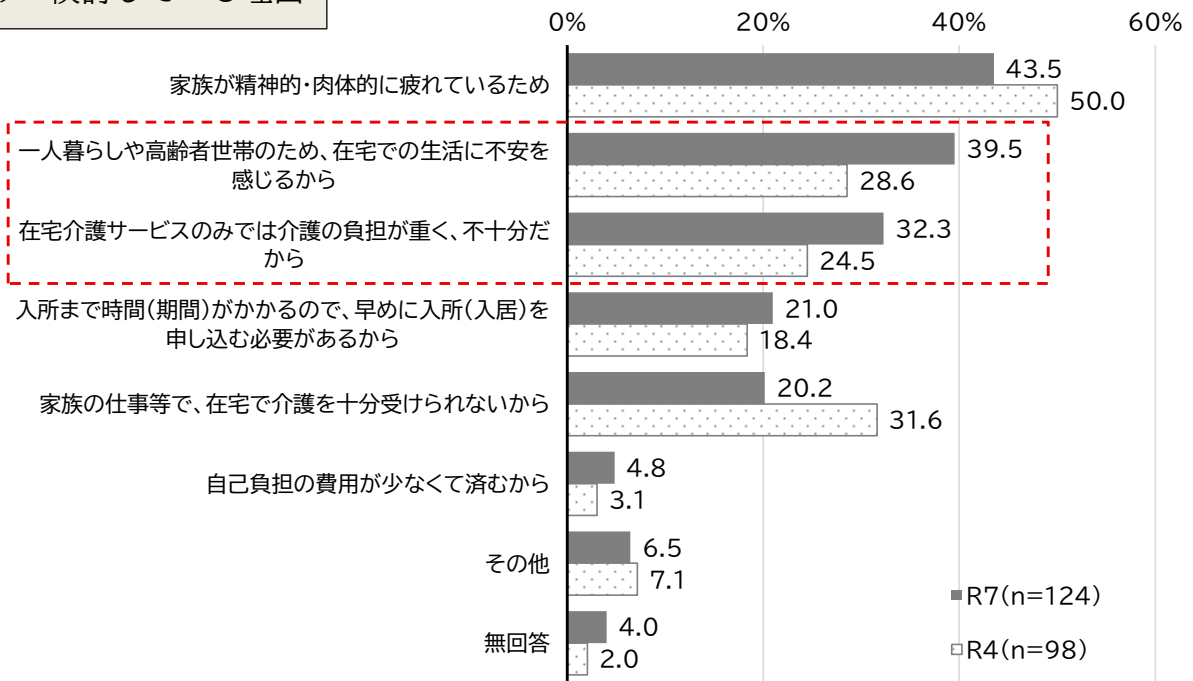


1. 施設の検討状況・サービスの利用

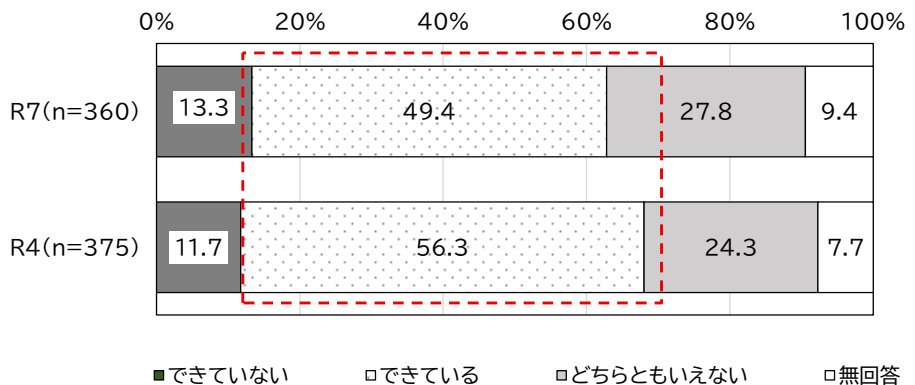
施設等への入所の検討をしていない方は、4ポイント程度増加。一方で検討している方の理由は「在宅での生活が不安」「在宅介護サービスのみでは不十分」が増加。必要なだけサービスを利用できているかについては、「できている」が6.9ポイント減少。「できていない」はやや増加。



申込み・検討している理由



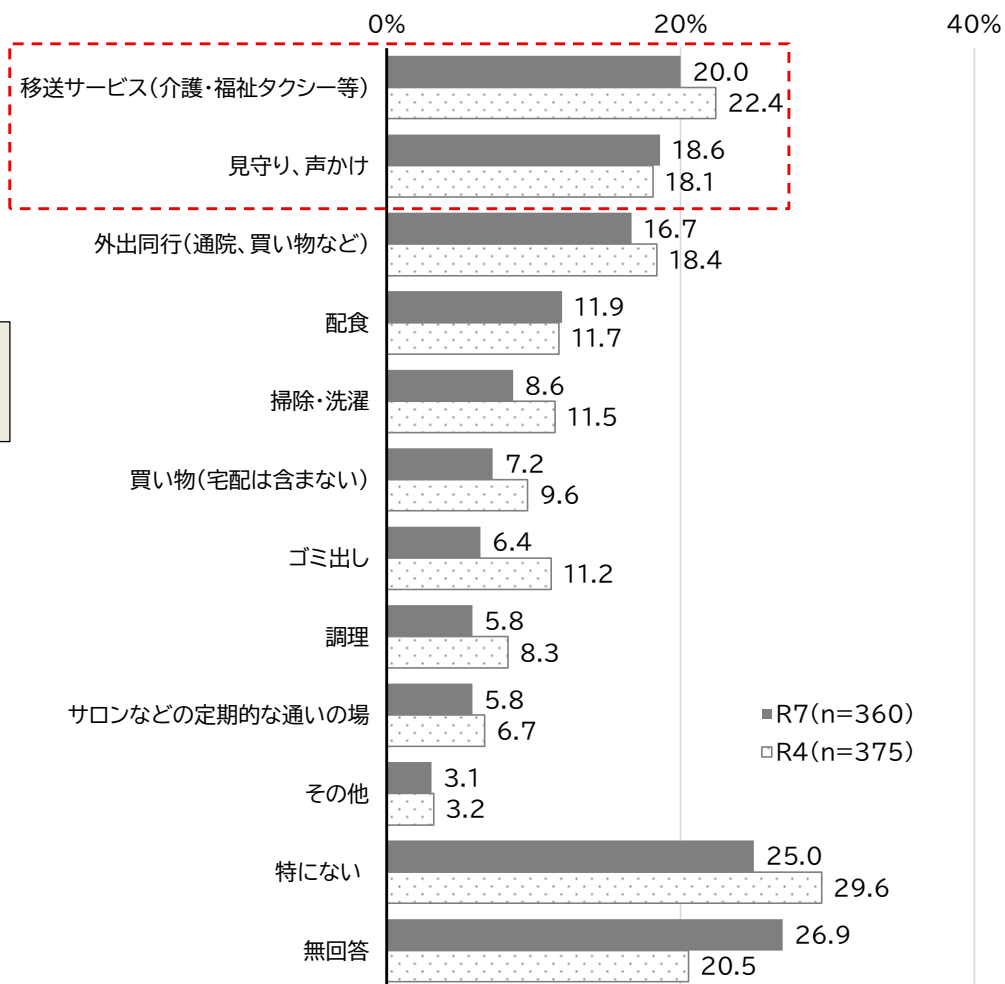
必要なだけサービスを利用できているか



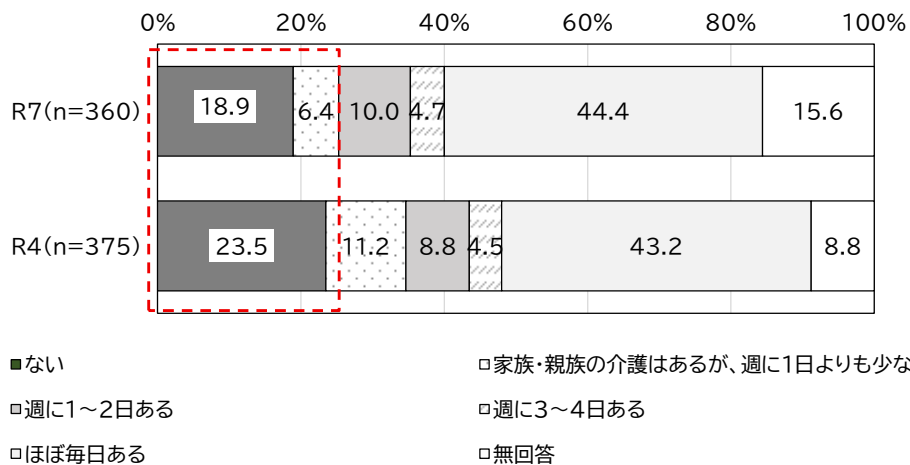
2. 必要なサービス・家族の介護頻度

必要なサービスは、「移送サービス」「見守り・声かけ」が上位となっている。
 (前回と同様の傾向)
 家族からの介護が「ない」が5ポイント程度減少。

必要な支援・サービス



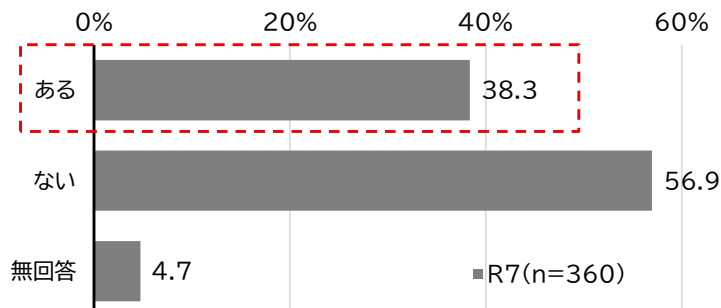
家族の介護頻度



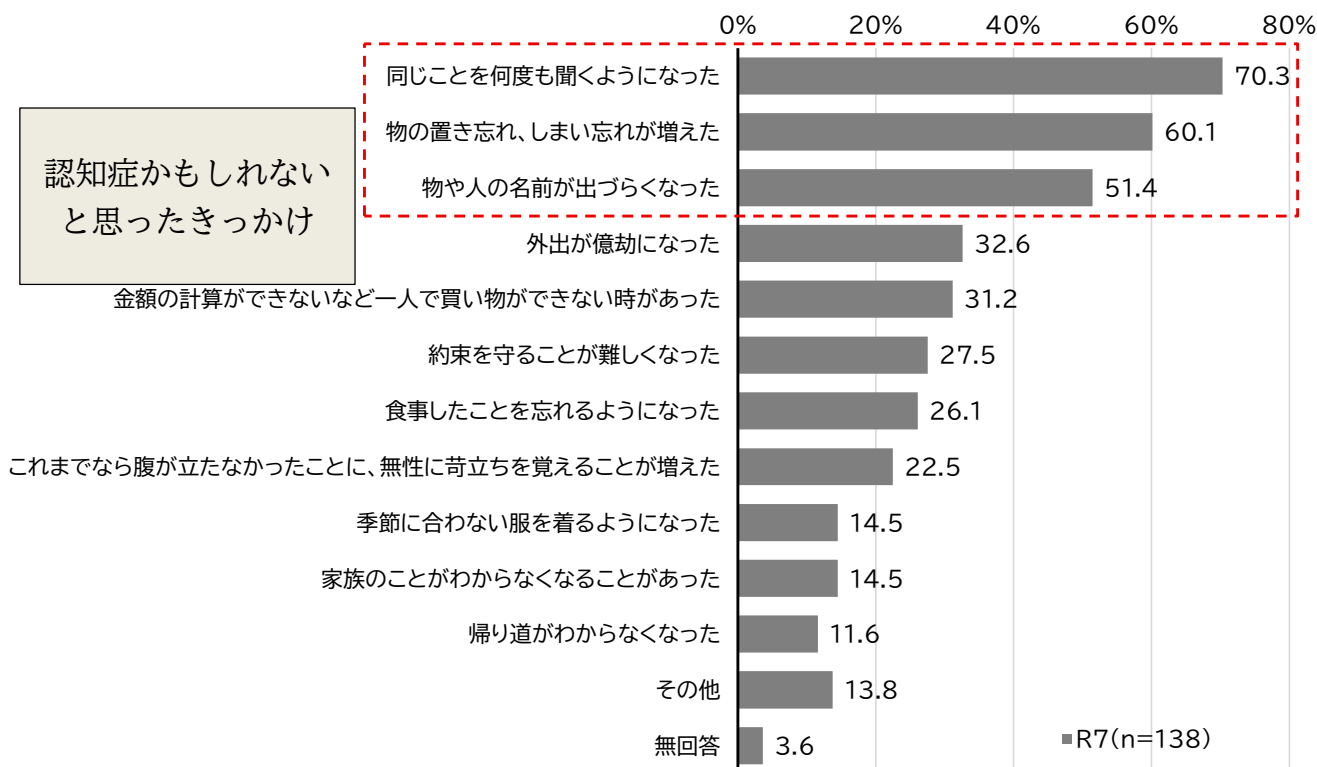
3. 認知症について

認知症と診断された方は約4割で、きっかけは「同じくことを聞く」「物の置き忘れ」「物や人の名前が出づらい」など、日常的に感じる内容の選択肢が高い。成年後見制度の認知度は、「知っている」がやや減少。

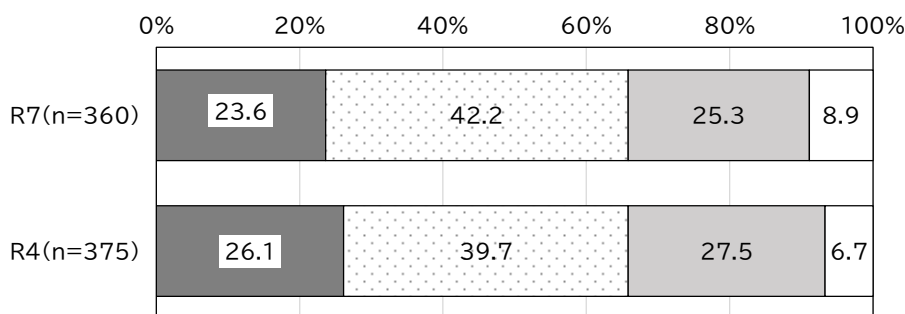
認知症と診断されたこと



認知症かもしれないと思ったきっかけ



成年後見制度の認知度

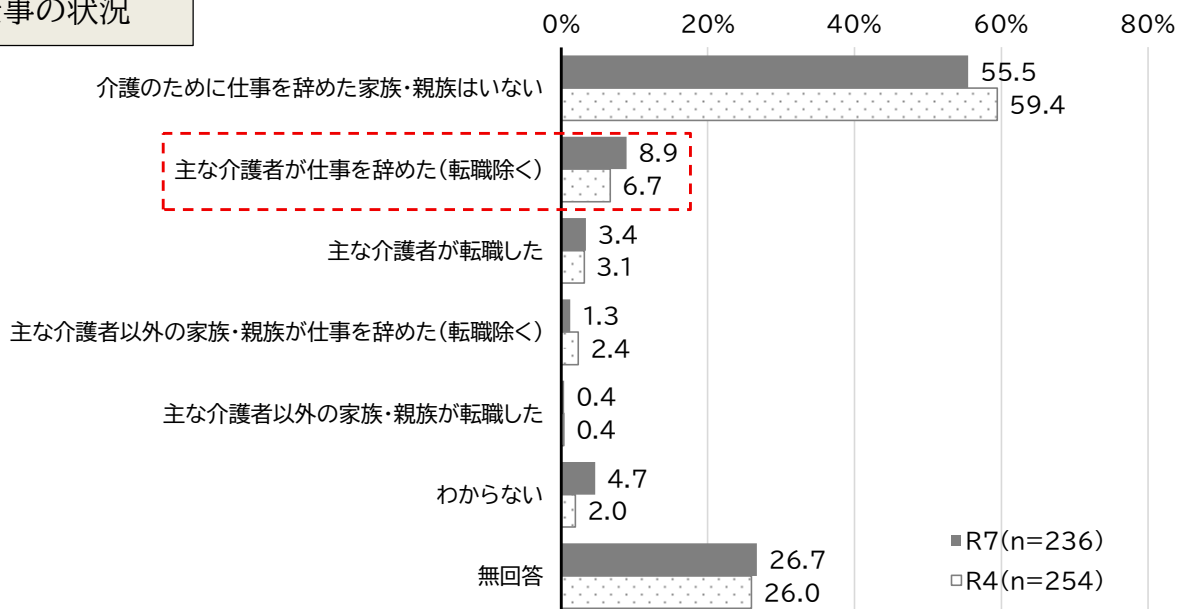


■知っている □聞いたことはあるが、内容までは知らない □まったく知らない □無回答

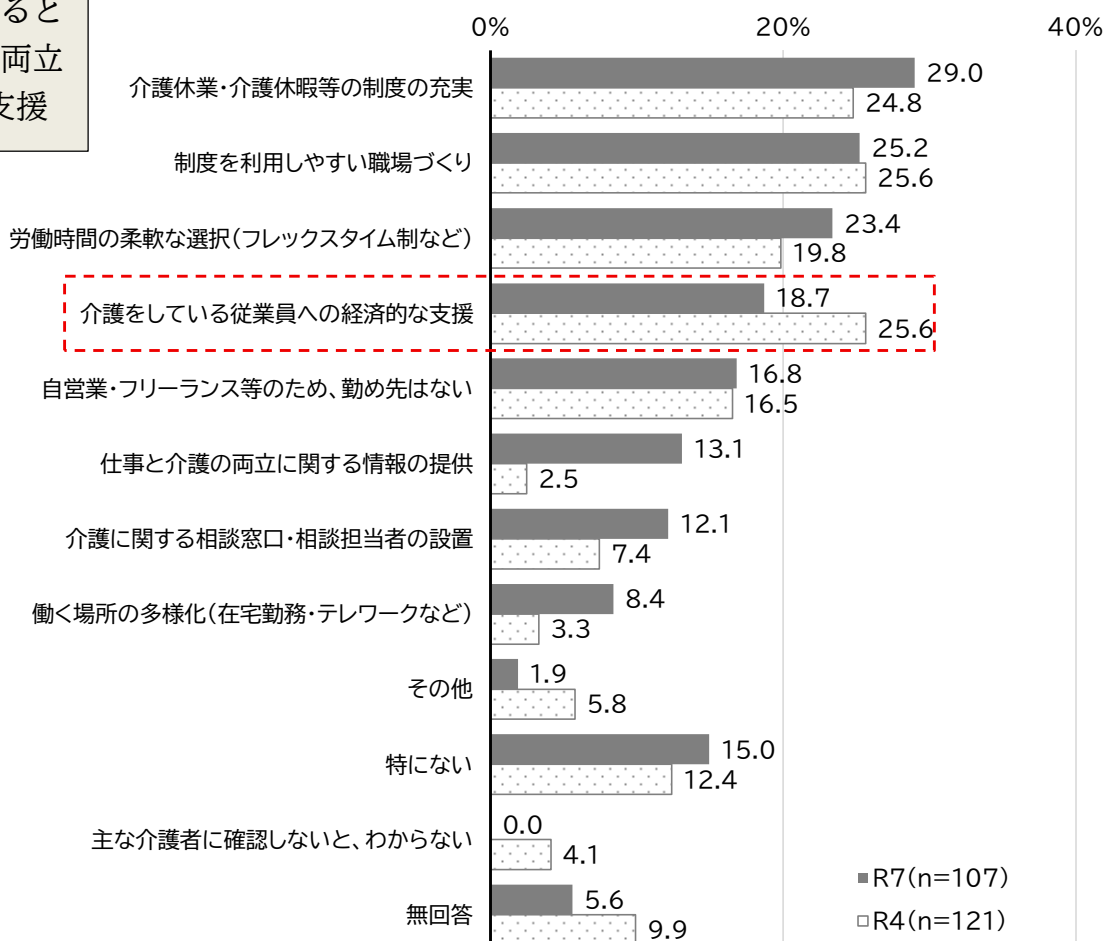
4. 介護者の状況

介護者の状況は、「介護者が仕事を辞めた」がやや増加。勤め先からの効果的な支援の上位は前回（R4）と大きな変化はないが、「経済的な支援」が大きく減少。介護と仕事の両立については、「続けていくのは難しい」が減少。

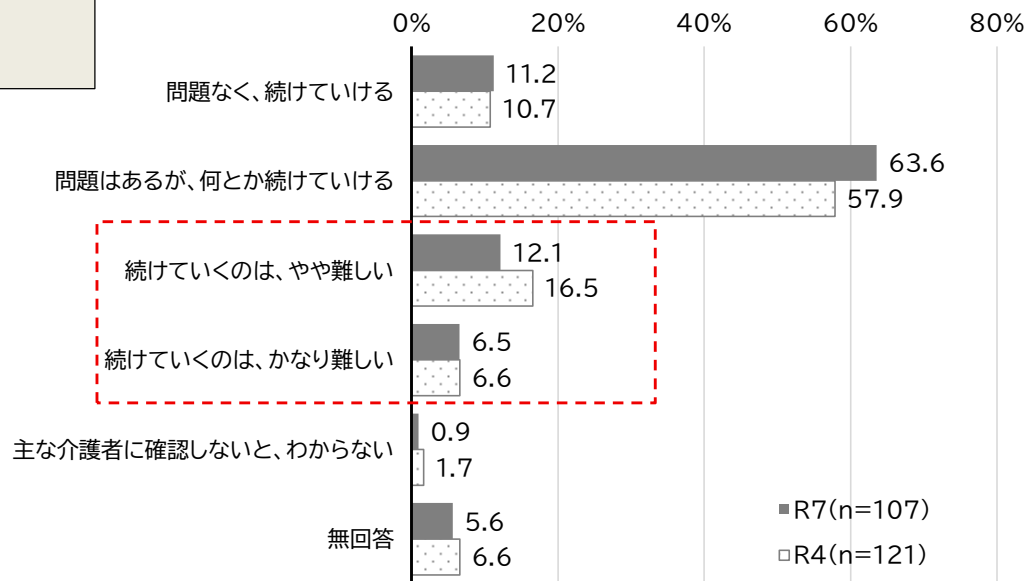
過去1年の介護者の仕事の状況



勤め先からあると仕事と介護の両立に効果的な支援



介護と仕事の両立
について



現在、クロス集計等作成中であり、年度末に向けて報告書として、とりまとめ作業中です。
次回会議でお示し予定です。